

令和4年度第1回鹿児島市行政改革推進委員会概要録

日時：令和4年7月20日（水）10:15～11:00

場所：市役所本館2階特別会議室

委員意見、事務局回答

1	<p>○ 六次大綱と七次大綱の違いは。</p> <p>→ 七次大綱では、六次大綱から継続すべきものは残しつつ、効率的で効果的な行財政運営を基本としながら新しい技術の進展や社会情勢の変化に対応するため、「ICT利活用の推進」を推進方針に掲げたところである。</p>
2	<p>○ 少子高齢化の進行という話があったが、令和4年度の推進方針においてこういった取組がなされているのか。</p> <p>→ 人口減少や少子高齢化の進行については、行政改革大綱の策定にあたっての背景として捉えており、本市を取り巻く行財政環境の変化をふまえ、効率的で効果的な行財政運営にどう取り組んでいくかというところに注力している。</p>
3	<p>○ デジタル化の推進にあたっては、デジタルデバインドなど臨機応変に対応する必要があるが、鹿児島市の将来を担う若者にとって魅力ある先進的な取組を期待したい。</p>
4	<p>○ 適正な定数管理の推進について、人員削減を進めるとある一方で定数が昨年度に比べて増加しており、これは新型コロナなどの理由だと思いが考え方を聞きたい。</p> <p>→ 新型コロナウイルス感染症や国体など新たな行政需要への対応等により全体の定数は増加しているが、事業の終了等に伴う削減も継続して行っており、その時々々の状況等を踏まえながら定数が適正になるように管理している。</p>
5	<p>○ 羽毛布団の資源化について、実施に至った経緯を教えてください。</p> <p>→ リサイクルについては、資源の有効活用を図るため剪定枝の収集など様々な取組を行っているが、財源の確保にもつながることから、新たな取組として粗大ごみとして収集した羽毛布団の資源化を実施することになった。</p>
6	<p>○ コロナの影響で事業の休止等あったと思うが、事業の再開にあたっては、コロナによる価値観の変化を考慮して見直す必要がある。</p>
7	<p>○ 子育て世代にとっては子ども連れで窓口に出向くことへのハードルが高いため、相談業務のオンライン化については、外出しなくても気軽に相談できる手段としてコロナが収束した後もぜひ続けてほしい。</p>
8	<p>○ 行政評価について、EBPMを活用した評価を実施するとのことで、成果の見せ方についても変わってきていることを感じた。</p>